

日本茶のいろは「お煎茶を楽しむ」

日時 2019年6月15日(土)

① 10:00 ~ 12:00 ② 13:30 ~ 15:30

会場 山田松香木店 伝承香房 2階
京都市上京区室町通下立売上ル

【講座紹介】

身近な日本文化でありながら、
じつは知らない煎茶の世界。
今回は、小川流煎茶 御家元
小川後楽さんをお招きし、
その歴史や文化、手前の作法、
茶器の魅力などお話しいたします。
新しい茶味の発見をしてみませんか？



講師：小川後楽氏

【講師 小川後楽 氏より】

煎茶という文字の誕生は、遠く中国の唐の時代、
日本では平安時代に遡りますが、煎茶がどのような展開を
経て今日に至ったのかを知る人は多くありません。
そこで本講座では、日本の喫茶史を煎茶の視座から概観し、
煎茶に関係した多くの文人の行跡を通じ、
その知られざる歴史をご紹介したいと思います。
また講座の後半は煎茶席体験として、実際に手前や
煎茶道具をご覧いただきながら、京都で二百年以上続く
小川流の「滴々のお茶」をご賞味いただきます。
本講座を通じて、芸術にも至る風雅な煎茶の世界を
楽しんでいただければうれしく思います。

講師 小川 後楽 (おがわ こうらく)

定員 各回 24名
(申込先着順・要予約)

参加費 3,500円

主催 NPO 法人 和の学校



講師 小川後楽氏 の紹介

煎茶道家 和の学校理事
京都造形芸術大学客員教授
佛教大学非常勤講師

1971年京都市生まれ
小川流煎茶六世家元後楽の長男
立命館大学法学部卒業後
NTT西日本を経て
2017年小川流煎茶家元七世を襲名

流祖より受け継ぐ
小川流独自の煎法を守りながら
その煎茶の魅力を広めることに
尽力している。

HP：小川流煎茶
<http://www.ogawaryu.com>

◆ 会場 山田松香木店のご紹介

江戸・享保年間に薬種業を始め、其の後、明和から寛政年間にかけて、薬種の扱い品目を香りに特化し、香木・芳香性薬種（香原料）を中心とする香木業に移行致しました。所在地である京都御所西地域は、大変火事が多く、我々も天明の大火や御所焼けなど、何度も被災し、その都度周辺に場所を移したり、一時休業を余儀なくされました。屋号は、香松屋（こまつや）・香具屋・沈香屋などの名称が使われていましたが、後に旧屋号に因み、現社名となりました。現在、香木業として、平安時代より続く「日本の香り文化」を、その発祥・発展の地で正統に伝承することを社是とし、同時に薬種業（香松屋）も継続しております。

○京都本店

京都市上京区室町通下立売上ル

定休日：年末年始 営業時間：10時～17時30分

HP：<http://www.yamadamatsu.co.jp>

（体験のご案内）

「世界に1つ」の匂香、練香のお詠えや

聞香実践体験 袋作り体験、煉香作り体験 など

※ 事前要予約

お申込み方法

①名前、②ご住所、③ご連絡先（電話番号・e-mail）を明記の上、電子メールまたはFAXでお申し込みください。

お申込み・お問合せ先

NPO 法人 和の学校（担当：吉田・井藤）

〒602-0006 京都市上京区禅昌院町 648-1

TEL：075-202-2001 FAX：075-431-7570

E-mail：info@wanogakkou.com

※ご不明な点がございましたら、電子メールまたはお電話にてお問い合わせをお願いいたします。

■NPO 法人 和の学校とは？

日本の文化とその奥底に流れる、思いやり、感謝の心、豊かな知恵などを見直し、継承していくことを目的として活動しています。

<http://www.wanogakkou.com>

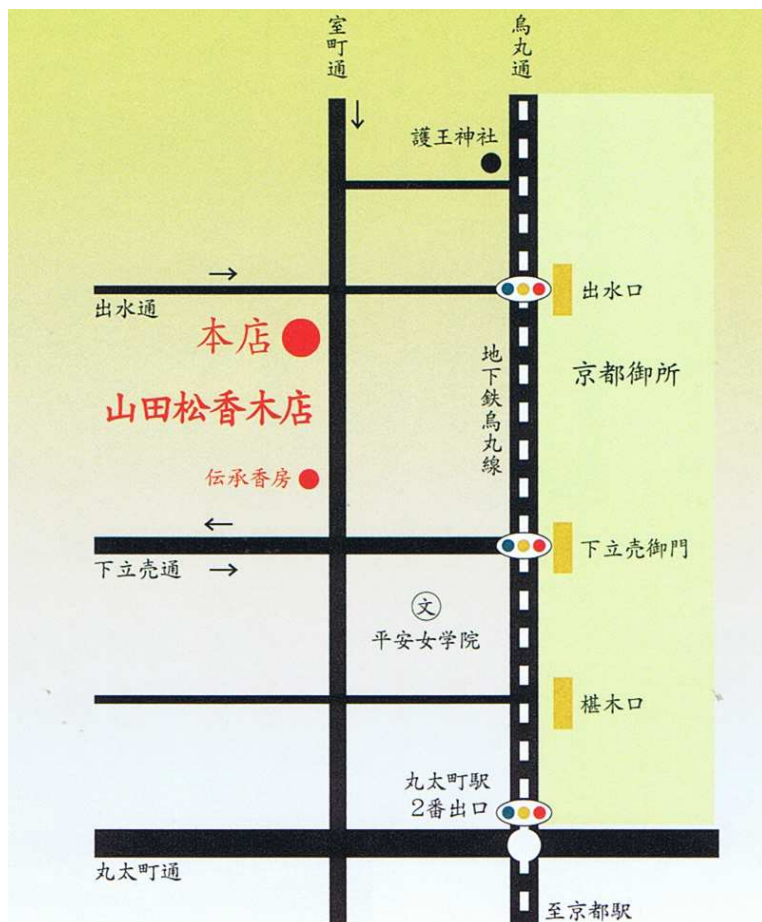
こころ塾 茶美会 Facebook

<https://www.facebook.com/sabie.kokorojyuku>

「会員・ボランティアスタッフ」を募集しております。

会場「山田松香木店」への交通案内

◆地下鉄 丸太町駅より 徒歩 約7分



※申込みに関して

申し込み後、和の学校からの確認メールが届かない場合は、再度ご連絡をお願いいたします。

「こころ塾」参加申込書

ふりがな		
お名前		
ご連絡先	住所 〒	
	TEL	FAX
	E-MAIL	